

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ

Network
Now

JART 情報
<https://www.jart.jp>

2026 No.602
2 / 1

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



2025年度 第5回理事会 開催される (Web併催)

2025年12月6日(土)午後2時より、2025年度第5回理事会が日本診療放射線技師会事務所でWeb会議システムを併用して開催されました。

冒頭に上田会長よりあいさつがあり、医療に関する政治的活動として、医療職の処遇と医療経営改善について高市政権に要望書を提出したことについて述べられました。

理事会の主な議題は、「日本手術支援画像技術学会の承認学会としての承認」「第2回日本放射線医療技術学会の開催」でした。

富田副会長より、日本手術支援画像技術学会の承認学会としての承認について、学会設立趣意書を基に説明がありました。画像等手術支援分科会は、最新の画像検査、画像処理、画像管理技術を活用し、最適な手術支援画像の作成および提供によって社会貢献を果たすことを目的に設立されたものです。臨床で手術支援画像が積極的に取り入れられている現状を踏まえ、手術支援画像に関心を持つ診療放射線技師や多くの研究者・医療関係者が集い、意見交換を行いながら研究活動を推進することは、臨床現場において重要な役割を果たしています。今後、手術支援画像の役割をさらに発展させることが期待されることから、本会承認学会として承認を得たい旨が述べられました。これに対し富田伸生理事からは、学会設立プロセスや学会としての活動実績に関する質問がありました。上田会長からは、学会役員には本会役員も2人参画していること、また学会に移行してからの期間は短いですが、活動内容について特に問題ないとの回答がありました。審議の結果、本件は全会一致で承認されました。

次に児玉副会長より、第2回日本放射線医療技術学会の開催提案について説明がありました。2024年に開催された第1回学会大会のアンケート調査では、回答者の80%の方から合同開催の継続を希望する意見が寄せられ、若手会員との懇談会においても同様の声があったことが紹介されました。本会および日本放射線技術学会の学会大会運営委員会において、学会大会合同開催について両団体の理事会で機関決定し、新年度に覚書を締結したいとの提案でした。また理事会前に開催された事前説明会に基づき、全国8地域で集めた意見について地域理事から説明がありました。中村監事から

は、両団体による合同学会大会の確実な検証や評価の実施、開催プロセスのフローや両団体および開催地診療放射線技師会の役割を明確にする必要性などが指摘されました。本理事会では、今後の学会大会合同開催の実施について審議を行い、全会一致で承認されました。日程、開催場所については改めて検討することとしました。

その他の議題として、「50年勤続表彰者の学会参加費」「日本診療放射線技師学会大会運営規程の変更」「医療被ばく低減施設認定新規認定」「医療被ばく低減施設審査サーベイヤール任命」「2026年度総会・理事会スケジュール」「オートプシー・イメージング(Ai)検査ガイドライン第3版」「入会者・退会者・会費免除の承認」についても審議され、いずれも全会一致で承認されました。

報告事項として、中村監事より中間監査報告がありました。事業報告等、財務諸表およびその附属明細書ならびに財産目録の監査結果について説明がなされました。監事からの意見として、①会員数の増加と会費の減額②日本放射線医療技術学会大会について両団体による評価・検証と今後の運用③計画通りJARTISを更新するための精度の高い要求仕様と運用の見直し——について検討を求める旨が述べられました。

会員動向について堀住事務局長より、2025年10月末時点で会員数が34,371人、組織率は58.0%であるとの報告がありました。上田会長からは、新規入会者数の伸びが小さく、特に技師籍登録初年度の方について、残り4カ月の間の入会促進について、地域理事を通して都道府県技師会の協力をお願いしたいとの意見が述べられました。

調査委員会より、「アンケート調査データ管理に関する内規」の制定について説明があり、個人情報保護方針に基づき、アンケート調査により収集されたデータの適正な保管・管理と個人情報保護について定める旨が報告されました。その他に、各地域理事、各種委員会、分科会から47項目の報告がなされました。

最後に上田会長よりあいさつがあり、本理事会は終了しました。詳細は、本会会誌に掲載される2025年度第5回理事会議事録(抄)をご参照ください。

2025年度 日本診療放射線技師会 教育委員幹事会 開催される (Web併催)

2025年12月7日(日)午前10時より、2025年度教育委員幹事会が本会事務所でWeb会議システムを併用して、地域教育委員幹事、地域理事、JART執行部役員の参加で開催されました。

冒頭に上田会長よりあいさつがあり、教育委員へのねぎらいの言葉が述べられるとともに、告示研修について厚生労働省に提出している目標人数を達成する見通しである旨の報告がありました。本会議の主な議題は、「2025年度学術関係事業報告」「今後の教育委員について」「告示研修の開催について」「生涯教育システムの概要について」でした。

学術教育委員長の川守田理事より、2025年度学術関係事業の報告がありました。クリニカルラダーは、11月末時点でレベル1が8千人、レベル2が1万人の申し込みとなっています。レベル2は全て本年度中に公開予定であり、本年度より予防医学も追加されます。講習会は、現状としてe-ラーニングが60%、対面開催が40%で実施されています。本年度からの新たな取り組みとして、エックス線撮影および放射線治療計画において、座学(Web)・会場型実習を組み合わせたハイブリッド型講習会を開催しているとの説明がありました。

川守田理事より、今後の教育委員について説明がありました。告示研修の地方開催終了やフレッシューズセミナーの完全e-ラーニング化に伴い、教育委員としての役割がいったん終了となりますが、今後も学術・教育を担務していただくために、教育委員の委嘱を継続することとしました。

入会促進委員長の江端業務執行理事より、2026年度のフレッシューズセミナーの開催について説明がありました。2025年度に実施されたフレッシューズセミナー受講後の入

会者が非常に少なく、入会に結び付いていない状況で、本年度の新卒入会者数は539人で新卒者数全体の18.6%と低調であるため、今後は入会促進委員会で担務することになりました。またこれまで本会指定講義の座学として実施してきましたが、今後は座学に加えグループワークなど、新たな取り組みや独自プログラムの開催も可能とし、フレッシューズセミナーの開催に対する助成金を補助する方針が示されました。

業務拡大推進委員長の菊地理事より、告示研修について説明がありました。厚生労働省に提出している目標数を超える3万7千人、診療放射線技師の約60%が受講を修了しており、次年度以降の告示研修の開催は、交通の便の良い地域で年に12回(東京と大阪で各6回)開催する予定であると報告されました。

川守田理事より、生涯教育システムの概要説明がありました。本会としてはクリニカルラダーおよびマネジメントラダーの推進に際し、施設管理職の理解を得て人材育成に活用していただきたい旨が述べられました。

その他に「ワクチン筋注行為に関する実技講習会」「各地区次年度事業スケジュール」「第42回JCRTポスター」「経理処理」「認定資格」「各種運用規程・要綱等」について報告・説明がなされ、資料と共に共有されました。

最後に児玉副会長より、フレッシューズセミナーが新人教育事業から入会促進事業へ移行したこと、クリニカルラダーが会員全員に教育環境を提供することを目的としていること、業務拡大に対する注意事項や周知の必要性などについて述べられ、本会議は終了しました。

2025年度 日本診療放射線技師会 委員長・分科会長 合同会議 開催される (Web併催)

2025年12月7日(日)午後2時より、本会事務所でWeb会議システムを併用して委員長・分科会長合同会議が開催されました。

本年度の学術関係事業について、川守田理事より事業報告が行われました。

クリニカルラダーを全てe-ラーニング化したことにより、11月21日現在の受講者数は、レベル1が8,131人、レベル2が10,457人、レベル3が2,935人で、約2万人が受講した旨の報告がありました。併せて予防医療ラダーおよびレベル3の未開講モダリティーについては、次年度に開講できる見込みであることが示されました。

その後、委員会・分科会講習会開催要項(案)、生涯教育システムの概要、2026年度日本診療放射線技師学術大会、経理処理について説明が行われました。

また江藤副会長より、委員会・分科会で実施するアンケートの元データの保管方法および実施時の運用について説明

がありました。

各項目において適宜質疑が行われ、相互理解を深める有意義な会議となりました。



告示研修 開催報告

山口県

一般社団法人山口県診療放射線技師会 会長 三輪 光良

山口県で開催する最後の告示研修(実技)を、2025年12月13日(土)にパルトピアやまぐちで開催しました。定員を少し下回りましたが40人の参加がありました。山口県のファシリテーターチームも最後とあって達成感があるようでした。

開催初年度は、新型コロナウイルスの影響で開催することにもいろいろとご意見を頂きましたが、結果的には山口県内の診療放射線技師の約70%に受講していただくことができました。休日を割いて頑張ってくれたファシリテーターをはじめ、スタッフの皆さまに大変感謝しております。おかげさまでこの5年間を乗り切ることができました。ありがとうございました。

またファシリテーターチームのメンバーも開催を重ねるたびに要領をつかんでいき、手際よく指導できるようになりました。後半には自施設で業務拡大を実際に行っているファシリテーターが講師となったり、どんどん成長していく姿は大変頼もしくもありました。

山口県では現在、業務拡大を行った施設はあまり多くはありませんが、徐々にその施

設を増やしていきたいと考えております。全国的に赤字病院が多いといわれる中でも診療放射線技師は必要であると思われる、増員をしてもらえる施設が増えればと考えております。



埼玉県

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 副会長 城處 洋輔

2025年12月20日(土)・21日(日)の2日間にわたり、JCHO埼玉メディカルセンターにおいて告示研修(実技)を開催しました。埼玉県においては、2022年の告示研修開始以降、今回で31回目の開催となり、これまでに県内外より延べ1,438人の診療放射線技師の方々にご受講いただきました。

埼玉県は東西に長い地形を有していることから、受講者の移動負担を軽減し、より参加しやすい環境を整えることを目的として、西部地区(日本医療科学大学)および東部地区(さいたま赤十字病院、JCHO埼玉メディカルセンター、埼玉県済生会川口総合病院)に分けて研修を実施してきました。

ファシリテーターはそれぞれの専門分野を踏まえて選任され、自身の経験や各施設における実際の取り組みや工夫を交えながら指導を行いました。その結果、受講者の皆さまが知識の習得にとどまらず、臨

床現場における具体的な業務を想定しながら理解を深めることができ、実践的かつ有意義な研修となったと考えています。

最後に、業務拡大に伴う統一講習会の時代から、長年にわたり研修を支えていただいたファシリテーターの皆さまをはじめ、会場をご提供いただいた関係施設の皆さま、ならびに運営に携わったスタッフの皆さまに深く感謝申し上げ、開催報告と致します。



第21回中四国放射線医療技術フォーラム (CSFRT2025) 開催報告

第33回公益社団法人日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会
第66回公益社団法人日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会

一般社団法人香川県診療放射線技師会
会長 門田 敏秀

2025年11月22日(土)・23日(日・祝)の2日間、香川県高松市のサンポートホール高松で「第21回中四国放射線医療技術フォーラム(CSFRT2025)」が開催されました。本大会は、「第33回公益社団法人日本診療放射線技師会 中四国診療放射線技師学術大会」と「第66回公益社団法人日本放射線技術学会 中国・四国支部学術大会」の合同開催となりました。この中四国放射線医療技術フォーラムは、日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会が合同で開催する地方学会としては全国に先駆けて始まり、2005年に岡山で開催されたのを皮切りに、今回で21回目(うち1回は新型コロナウイルスにより中止)の開催となりました。初開催から20年たった2025年は、国民の5人に1人が後期高齢者に当たる超高齢社会を迎え、働き方改革や業務拡大など医療を取り巻く状況も目まぐるしく変化しています。こうした背景の下、医療に関わる私たちの真価が問われる中、参加者が真(シン)剣に学べ、そして心(シン)底楽しめるような学会とすべく、大会テーマを『シン・CSFRT』と致しました。3連休中にもかかわらず多くの皆さまにご参加いただき、学会参加登録者数669人(会員551人、非会員45人、学生73人)と盛況のうちに終了しました。

プログラムは、一般演題139演題(口述発表129演題、示説発表10演題)をはじめ、JART会長講演、JSRT代表理事講演、特別講演、市民公開講座、ランチョンセミナーなど多岐にわたりました。JART上田会長には「人口減少時代におけるJARTの役割」と題し、医療を取り巻く諸課題から職能団体としての役割についてご講演いただきました。続いてJSRT石田代表理事には「未来の医療に貢献できる学会に向けて」と題し、放射線技術を研究する学術団体として、学会の在り方や組織づくりについてご講演いただきました。特別講演では、香川大学 医学部 放射線医学講座の三田村克哉先生より「核医学治療の“いま”と“これから”」、市民公開講座では香川大学 医



実行委員一同



JART 上田会長



JSRT 石田代表理事



特別講演 三田村克哉先生



市民公開講座 石川一朗先生

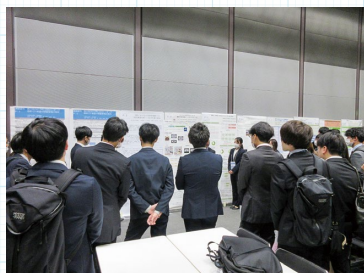
学部 精神神経医学講座の石川一朗先生より「知ることからはじめよう！ 認知症の基礎から最新の治療について」と題し、核医学治療や認知症についてとても分かりやすくご講演いた

だきました。また2日目には、香川県診療放射線技師会企画としてワクチン筋注の実技講習も行われ、多くの方が受講されました。

今回のフォーラムが成功裏に終わりましたことは、会員をはじめ多く皆さまのご参加と、ご協賛いただきました企業各社さまのご支援、ならびに運営を支えていただいた実行委員の皆さまのおかげです。ここに深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。



口述発表風景



示説展示風景

レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW.C.レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

NIIGATA

すこやか・ともしびまつり 2025

- 日 時：2025年9月13日（土）・14日（日）
- 開催場所：アオーレ長岡
- 参加者：担当者数20人、一般約500人（両日合わせ）

残暑厳しき2025年9月13日（土）・14日（日）、アオーレ長岡アリーナにおいて執り行われました。本会開催ブースでは、新潟医療福祉大学さまより借用した

踵骨を用いた超音波法による骨密度測定を行い、約500人の市民の皆さまにご参加いただきました。新潟大学ならびに新潟医療福祉大学の3年生7人にボランティアとしてご協力いただき、理事を含め総勢20人のスタッフからご協力いただき盛大に執り行われました。ご提供いただいた品のほか、協賛金で本会名入りポケットティッシュを作成し、参加いただいた市民の皆さまに配布致しました。ご協賛ありがとうございました。

（新潟県診療放射線技師会 社会事業部 部長 鈴木 隆道）

ISHIKAWA

第46回健康づくりフェア

- 日 時：2025年9月27日（土）・28日（日）
- 開催場所：金沢健康プラザ大手町東館・西館
- 参加者：担当者数8人、一般317人

金沢市健康づくりフェアへの参加は本会にとって啓発活動の一翼を担う活動であります。

超音波骨密度測定の実施をはじめ、放射線発見の歴史上の人物や放射線の基礎、医療被ばくのパネル展示、石川県原子力防災訓練参加への啓発、医療被ばく

相談を行いました。

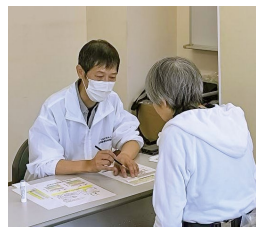
多くの方に来場していただきましたが、特に超音波骨密度測定は過去一番の賑わいでありました。

普段、受けているX線検査やCT検査において、たくさん検査しても大丈夫か？などの医療被ばく相談があり、分かりやすい言葉で説明を行いました。

また本会は石川県原子力災害協力機関でありますので、毎年開催されている石川県原子力防災訓練の写真を掲示し、参加の啓発も同時に行いました。

興味深く説明を聞いている多くの一般県民（市民）の方と触れ合う中で、次年度以降も本事業の継続が必要であると感じました。

（石川県診療放射線技師会 広報渉外委員 井戸 浄清）



KANAGAWA

第50回藤沢市民まつり

- 日 時：2025年9月28日(日)
- 開催場所：藤沢駅エリア北口地下広場
- 参 加 者：担当者数9人、一般348人
 - ・プレスト・アウェアネス
(乳がん触診体験)：132人
 - ・骨密度測定：216人

9月28日(日)、第50回藤沢市民まつりが開催されました。50回目の区切りを迎えたということで、例年より大規模な開催となりました。記念企画として藤沢駅を中心に、市民1万人の大パレード、東北や能登の復興支援を目的とする絆ブースでの物販、イベントステージでは福島県からフラダンスチームが参加し、石川県から能登太鼓が披露されました。当日は好天に恵まれ、多くの人出もあって、かなりの熱気と盛り上がりを感じました。

今回、神奈川県放射線技師会ブースは、藤沢駅エリア北口地下広場に設置されました。残暑の強い日差しと高い気温を避けることができる最高の場所でした。メイン会場とは少し離れていたいたので人通りが心配でしたが、渉外委員会6人、常務理事1人、湘南放射線技師会から2人、総勢9人でプレスト・アウェアネスと骨密度測定を行いました。お祭りが始まると炎天下を避けたり、メイン会場周辺の人の波を避けたりした方々が地下道を通り始め、技師会ブースに立ち寄ってくれました。今回もそれぞれが熱心に乳腺ファントムの自己触診を指導し、骨密度測定結果を解説するなど、診療放射線技師という職業をアピールする姿を見ることができました。

今回の活動ではいつもと違う印象を受けました。それは防犯学習をVR体験できるブースや、ロボットやARを使ったトレーニングマシンなど、最先端技術を体験できるブースが技師会ブースの隣に設置されていたおかげかもしれませんが、ブースを訪れる年齢層がいつもより若く、家族連れが多いと感じました。

骨密度測定結果の説明は年齢層によって変える必要があります。高齢の方には転倒防止を促しつつ、運動や栄養の取り方をお知らせしますが、若年層の方には今後の骨密度変化を追加説明し、子育て中のお母さん



には、子供たちの骨形成が将来の骨粗鬆症を防止するという点をさらに追加説明します。市民の皆さんはとても熱心に聞いてくれました。

プレスト・アウェアネスも骨密度測定も、県民・市民が健康に関心を示すきっかけになればいいと思います。技師会の渉外活動が、がん検診の受診率増加につながることを切に願います。今回とても貴重な経験ができました。このような機会を頂きありがとうございます。

(神奈川県放射線技師会／湘南放射線技師会
武笠 祐士)

GUNMA

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2025ぐんま

- 日 時：2025年10月11日(土)・12日(日)
- 開催場所：ALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンド
- 参 加 者：担当者数13人、一般80人



小雨の中でのスタートでしたが、たくさんの方にご参加いただきました。

パネル展示（診療放射線技師の仕事、放射線被ばくについて）、画像当てゲーム（X線とMRIで撮った画像を見て何か当てる）、乳がん触診体験（ファントムを使用）を行いました。またご参加いただいた方に関連グッズを配布しました。

(群馬県診療放射線技師会 内村 清香)



SHIGA

2025 おおつ健康フェスティバル

- **日 時**：2025年10月19日(日)
- **開催場所**：明日都浜大津
- **参 加 者**：担当者数45人、一般468人
- ・骨密度測定コーナー：468人
 - ・乳がん相談コーナー：235人
 - ・放射線に関する相談コーナー：11件
 - ・パネル展示コーナーにおける説明：16件
 - ・アンケートコーナー（県民向け）：468人
- 骨密度測定コーナー受付時にアンケートを実施し、パンフレットとボールペンを配布
- 乳がん相談コーナーでは、パンフレットと個包装入り（がん検診案内）マスクを配布
- （滋賀県診療放射線技師会 井関 忠弘）



第5回

第42回日本診療放射線技師学術大会

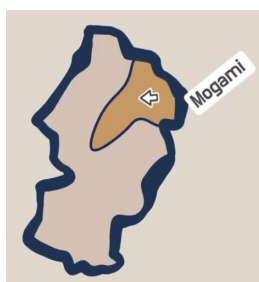
山形への道 Go To YAMAGATA

副実行委員長 吉田 直人

(山形県立新庄病院)

INFORMATION

山形県最上地域のご紹介



山形県北部に広がる最上地域は、新庄市を中心とした八つの市町村から成り、豊かな自然と歴史文化が息づく魅力的なエリアです。山形市からは国道13号を利用して約1時間30分で到着でき、県内でも比較的訪れやすい地域として知られています。高速道路網の整備により移動がよりスムーズになり、季節や時間帯による渋滞の影響が軽減されたことで、最上地域はさらに身近な旅先へと進化しています。

最上地域の中心である新庄市は、秋田県や宮城県にも近い交通の要衝です。山形新幹線の終着駅・新庄駅には山形駅から45分～1時間ほどで到着でき、公共交通によるアクセスの良さも大きな強みです。車でも電車でも訪れやすく、日帰り旅行からのんびり滞在する旅まで、幅広いスタイルに対応できる点が魅力です。

この地域には、自然や歴史を体感できる観光地が数多く点在します。戸沢村の**最上峡**では、最上川の流れに身を任せる**舟下り**が人気で、春の新緑、夏の深い緑、秋の鮮やかな紅葉、冬の凜とした雪景色など、四季ごとに異なる渓谷美が訪れる人を魅了します。大蔵村の**肘折温泉**は湯治文化が今も受け継がれる歴史ある温泉地で、素朴な街並みと豊かな湯量が特徴です。冬には豪雪がつくり出す静かな景観が広がり、心身をゆっくり癒やすのに最適な場所です。金山町では、**金山杉**で建てられた家々が整然と軒を連ねる街並みが美しく、歩くだけで穏やかな時間を感じられます。新庄市の**最上公園**は城址を生かした自然豊かな場所で、春には桜が咲き誇り、地域の憩いの場として親しまれています。

また最上地域を語る上で欠かせないのが、国重要無形民俗文化財に指定されている「**新庄まつり**」です。260年以上の歴史を持つこの祭りは、華麗な**山車行列**や神輿、囃子が市内を練り歩き、壮麗かつ迫力ある雰囲気観客を魅了します。特に趣向を凝らした山車は圧巻で、毎年多くの見物客が訪れる新庄市最大の行事として広く知られています。祭り期間中は町全体が華やき、地域文化の奥深さを感じられる貴重な機会となっています。

食の魅力も最上地域ならではの魅力です。新庄市名物の**とりもつラーメン**は、あっさりとしたスープに柔らかなとりもつがよく合い、地元で長く愛され続ける味わい深い一杯です。鮭川村の**きのこ**は秋の味覚として人気が高く、山の恵みをそのまま感じられる新鮮な風味が楽しめます。温泉街の**温泉まんじゅう**、地域ごとに個性豊かな**地酒**など、旅の思い出を彩る食文化も豊富にそろっています。

自然、温泉、歴史、祭り、食文化が心地よく解け合う最上地域は、山形市からも気軽に訪れることができ、短い旅でも深い満足感を得られる場所です。山形県で開催される日本診療放射線技師学術大会にご参加の際は、ぜひ足を延ばし、最上地域の多彩な魅力にも触れていただければ幸いです。



最上川と白糸の滝



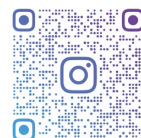
新庄まつりの山車



JCRT42
YouTube チャンネル
<https://www.youtube.com/@JCRT42>



山形県放射線技師会
Facebook
<https://www.facebook.com/profile.php?id=61574051232747>



山形県放射線技師会
Instagram
<https://www.instagram.com/yamahogi/p/>

**第42回**

The 42nd Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

第33回 東アジア学術交流大会

The 33rd East Asia Conference of Radiological Technologists (EACRT)

新たな潮流 紡ぐ灯

人とAIがもたらす放射線技術の未来

JARTスローガン

安全と信頼、診療放射線技師の使命と責任を果たそう

日時

2026
9/11 Fri - 13 Sun

場所

山形ビッグウイング
(現地開催+オンデマンド)

立石寺 (山寺) 不滅の法灯

会長

上田 克彦

公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 山形県放射線技師会

大会長

鈴木 幸司

一般社団法人 山形県放射線技師会 会長

後援 | 厚生労働省(予定) / 公益社団法人 日本放射線技術学会
山形県 / 山形市(予定)

大会事務局

一般社団法人山形県放射線技師会
〒990-9585 山形県山形市飯田西 2-2-2
山形大学医学部附属病院放射線部内Tel : 023 (628) 5786 Fax : 023 (628) 5799
E-mail : 42jart@gmail.com

誰もが安心できる医療へ —検査説明動画で支える合理的配慮



2024(令和6)年4月1日より、医療機関を含む全ての事業者に、障害のある方への「合理的配慮」の提供が法律で義務化されました。これは、障害を理由とする不当な差別をなくし、過重な負担を伴わない範囲で社会的障壁を取り除くことを目的としています。

医療現場で求められるのは、負担なく効果的な方法です。その答えの一つが**検査説明動画**です。

動画は、文章や口頭説明だけでは理解が難しい方に、視覚的・聴覚的な情報を補完し、繰り返し確認できる点で非常に有効です。字幕を付けることで、聴覚障害のある方にとって理解しやすくなります。また知的・発達障害や精神障害、強い不安を抱える方、高齢者などに対しては、動画の視覚的要素や繰り返し閲覧できる特性が理解を助けます。さらに**多言語化**により、言語の壁を越えたアクセシビリティも強化しています。

合理的配慮は「過重な負担を伴わない範囲」で行うことが重要ですが、動画活用はまさにその条件に合致します。閲覧環境を整備してしまえば、スタッフの説明負担を軽減しながら、患者の理解度を高めることが可能です。つまり、**より良い医療を、無理なく持続的に提供できる手段**なのです。

この取り組みは、単なる法令順守にとどまらず、**社会全体のインクルージョン——すなわち障害や言語、文化などの違いによって誰もが排除されず、平等に社会に参加できる状態を目指す考え方——の実現にもつながります**。医療における合理的配慮は、その理念を具体化する重要な一歩です。

今後とも、検査説明動画を積極的にご活用いただき、誰もが安心できる医療環境づくりにご協力賜れますと幸いです。

(文責：小林 聖子)

本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<https://www.jart.jp>) 右上の“新規入会”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL：03-4226-2211 E-mail：info@jart.or.jp

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

INFORMATION

JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(手続きについて→各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

INFORMATION

2月・3月の講習会などスケジュールのご案内

- | | | |
|-----------------|--------|---------------|
| 医療画像情報精度管理士セミナー | ：Web開催 | 2026年2月19日(木) |
| 放射線取扱主任者定期講習 | ：東京 | 2026年2月20日(金) |

告示研修(実技研修)/業務拡大に伴う統一講習会：

本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。

[e-ラーニング(ストリーミング方式)]

- | | |
|------------------------------------|---|
| 医療安全管理者養成研修 | 集合研修：2026年2月8日(日)【オンライン演習】
※集合研修の受講は、e-ラーニング(36時間)【受付終了】を全て受講した者に限る。 |
| 告示研修(基礎研修) | 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。 |
| 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針オンラインセミナー | 2027年3月31日(水)午後11時59分まで申し込み受け付け
※お申し込み成立の日からセミナー終了まで何度でも視聴いただけます。 |
| オンラインセミナー(在宅)： | 本会ホームページの「新着情報・お知らせ」またはJART情報システム(JARTIS)をご参照ください。 |

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

事務所
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。